

第114回日本外科学会定期学術集会
教育セッション

2014年4月5日(土)
京都国際会館 Room K

臨床実習生から見た外科実習： 京大医学生424例の記述からの提言

京都大学医学部医学科新6回生・KS-CoM代表

伊藤 秀一

itou.shuuichi.66s@st.kyoto-u.ac.jp

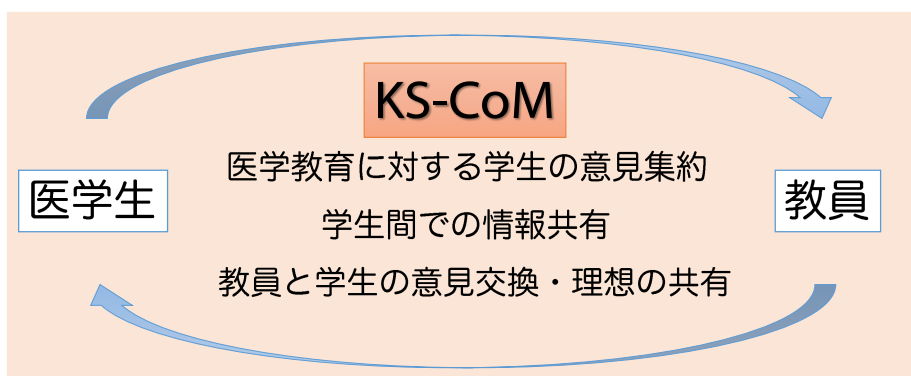


医学教育を考える学生の会KS-CoM (クスコム)

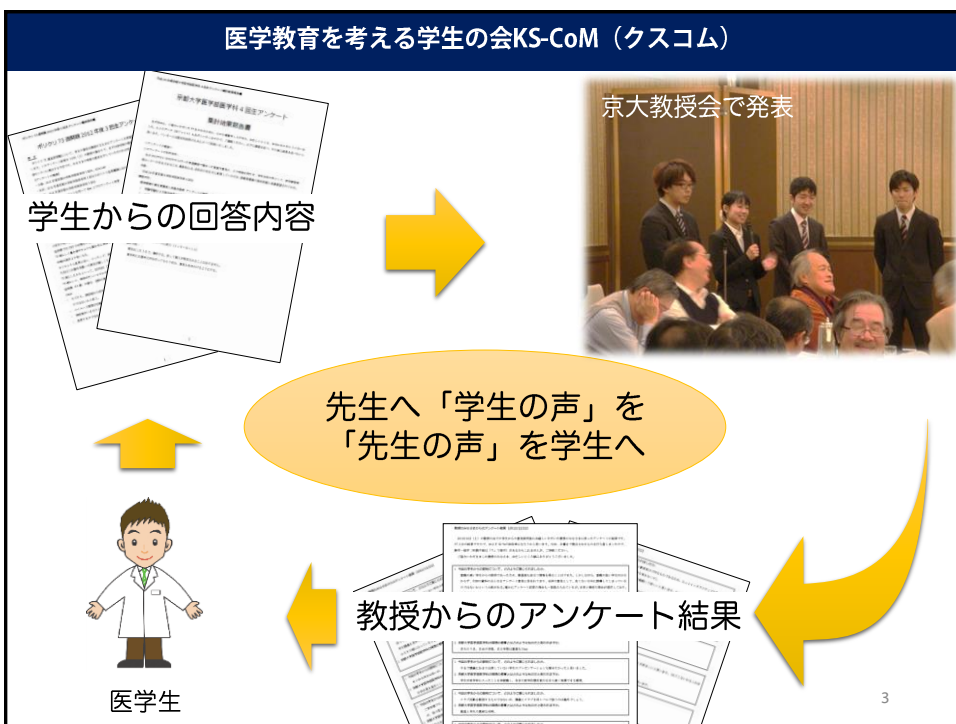
KS-CoM (医学教育を考える学生の会)

クスコム; Kyoto University Student Committee for Medical Education

目的：医学教育の改善および向上



2



医学教育を考える学生の会KS-CoM (クスコム)

医学生による臨床実習評価を実施

目的：臨床実習提供側へのFeedback
後輩への情報提供

対象：2013年度京都大学医学部医学科5回生

回収率：約65%、のべ424診療科分（外病院含む）

期間：2013/11/11(月) - 12/6(金)

媒体：紙冊子もしくはWebフォーム

5

医学教育を考える学生の会KS-CoM (クスコム)

見本	診療科評価シート Round n	Round n
<p>病院名 <input type="text"/> 診療科名 <input type="text"/></p> <p>当てはまる番号1~5またはYes.No、項目に○をつけ、回答してください。 記述項目には数字を記入してください。</p> <p>臨床実習生を歓迎し、受け入れる雰囲気はいかがでしたか。</p> <p>悪い 1 2 3 4 5 良い</p> <p>指導医は、臨床教育に対して熱心でしたか。</p> <p>不熱心 1 2 3 4 5 熱心</p> <p>1日の平均的な拘束時間を教えてください。</p> <p>時間/day <input type="text"/></p> <p>このうち、臨床的な学習機会が提供されていた割合は何%ですか。</p> <p><input type="text"/> %</p> <p>臨床的な学習機会が提供されていなくても役に立ちましたか。</p> <p>役に立たなかった 1 2 3 4 5 役に立ちました。</p> <p>○ (選ばず) 選ば 休憩 課外活動</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11</p> <p>この診療科での実習は、自分のキャリアの参考になりましたか。</p> <p>Yes No</p> <p>指導医からfeedback (レポートの添削、手技のアドバイス、実習の振り返りなど) をもらう機会はいかがでしたか。</p> <p>不十分 1 2 3 4 5 十分</p> <p>この診療科での実習を10段階で総合的に評価してください。</p> <p>悪い 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424</p> <p>裏面へ続く</p>	<p>以下の項目につき、自由に記述してください。</p> <p>この診療科での実習で、もっとも役に立った点を教えてください。その理由も教えてください。 例：診療科の委員会に出席され、授業の進捗を把握するうえでロールモデルとなる医師と実習で話し合えたこと。</p> <p>役立った点</p> <p>この診療科での実習で、改善すべき点を教えてください。その理由も教えてください。 例：外業で長時間拘束されたのに、説明やfeedbackがなく、教育の満足感がとれなかったこと。</p> <p>改善すべき点</p> <p>この診療科での実習で、実現しなかった理由も教えてください。 例：もっと手解を見たかった、指導医の先生と飲みに行きたかった。</p> <p>記述項目</p> <p>やってみたかった事</p> <p>宿舎や食事場所をはじめとしたアドバイスやこの診療科での実習の活用方法などの情報を教えてください。 例：外業での実習には情報が得られるため、ご協力お願いします。</p> <p>後輩へのアドバイス</p> <p>ご協力、ありがとうございました！！</p>	

3 トピックス：外科医の先生へ

1. 手術を理解できる
2. 手技をものにできる
3. 外科の適性を知ることができる

これらは外科実習において「**もっとも重要**」な要素でした。
この結論に向けて、順に分析結果をお伝えします。

9

全診療科：定量的分析

数値項目について

10

全診療科 数値項目より

数値的評価項目

実習の雰囲気

学習機会以外の割合

指導医の熱心さ

学習機会以外の有用性

拘束時間

実習環境

学習機会の割合

Feedback
レポート添削、実習の振り返りなど

学習機会の有用性

11

全診療科 数値項目より

回答項目間の相関係数 r の比較

	実習の 雰囲気	指導医の 熱心さ	拘束時間	学習機会の 提供割合	学習機会の 有用性	学習機会以 外の割合	学習機会以 外の有用性	実習環境	Feedback	総合評価
実習の 雰囲気	1.00									
指導医の 熱心さ	0.67	1.00								
拘束時間	0.21	0.27	1.00							
学習機会の 提供割合	0.29	0.37	-0.09	1.00						
学習機会の 有用性	0.52	0.53	0.20	0.27	1.00					
学習機会 以外の割合	-0.31	-0.40	0.08	-0.96	-0.29	1.00				
学習機会以 外の有用性	0.38	0.37	0.13	0.16	0.33	-0.15	1.00			
実習環境	0.29	0.23	0.00	0.12	0.20	-0.11	0.32	1.00		
Feedback	0.57	0.63	0.18	0.31	0.49	-0.34	0.38	0.34	1.00	
総合評価	0.64	0.67	0.15	0.44	0.60	-0.46	0.44	0.33	0.69	1.00

赤： $r \geq 0.6$ 緑： $r < 0$
いずれも $p < 0.001$ by t-test

12

全診療科 数値項目より

総合評価と強く相関する3項目

- 実習の雰囲気
- 学習機会以外の割合
- 指導医の熱心さ
- 学習機会以外の有用性
- 拘束時間
- 実習環境
- 学習機会の割合
- Feedback
レポート添削、実習の振り返りなど
- 学習機会の有用性

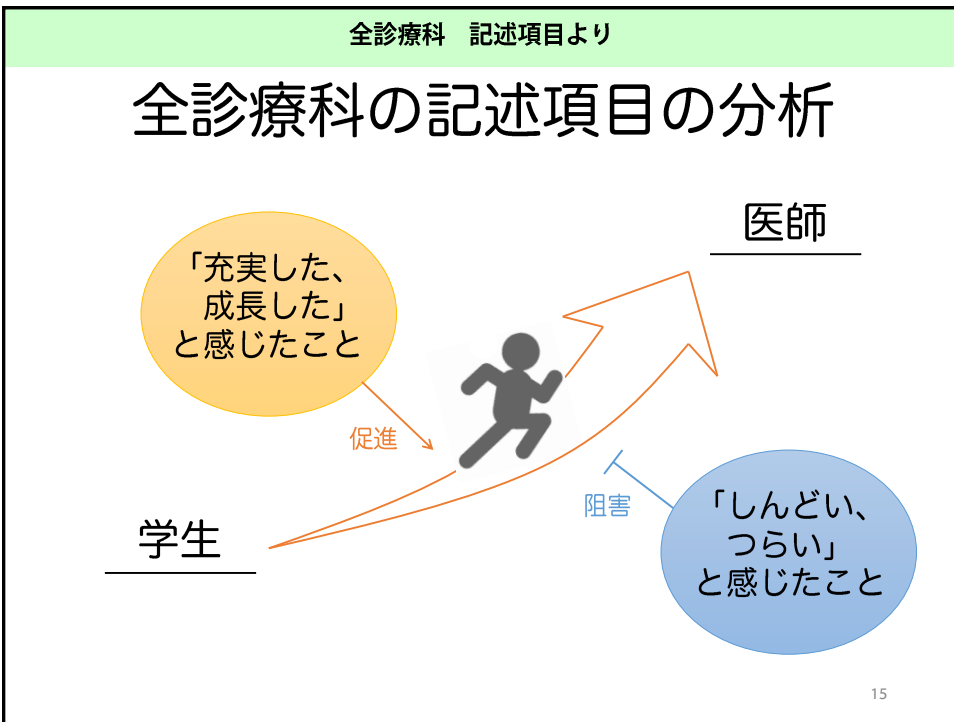
外科系のための解析でも同じ傾向であった

13

全診療科：定性的分析

記述項目について

14



全診療科 記述項目より：成長した！充実した！部分

診療の一端を担えること

“よく指導していただき、最後の方には縫合を任せてもらえ、手術の「やりがい」を実感しました。”

知識、技術を習得する

“講義のときに掴みにくかった内容も先生が懇切丁寧に、双方に質問を交えながら、教えてくれたので、腑に落ちました。”

16

全診療科 記述項目より：成長した！充実した！部分

ロールモデルを発見！

“心から尊敬する医師に会い、先生の日常診療、留学体験、その他さまざまな話が素晴らしかった。”

構ってもらえる

“部屋が与えられて過ごしやすかったのと、先生方と食事会に行けたことが嬉しかったです。”

17

全診療科 記述項目より：つらかった、しんどかった部分

放置・無視

“学生の存在を全く無視された。外来や手術室にただ居させて、基本は放置であった。看護師さんの邪魔にもなるし、とにかく疲弊した。”

無意味な拘束

“手術見学による長時間の拘束は、まったく教育的でなく、時間の無駄でしかなかった。”

18

全診療科 記述項目より

充実した、成長した！

- ・診療の一端を担えること
- ・知識を深め、技術を習得すること
- ・ロールモデルが見つかる
- ・構ってもらえる

学生 → 医師

促進

阻害


つらい...

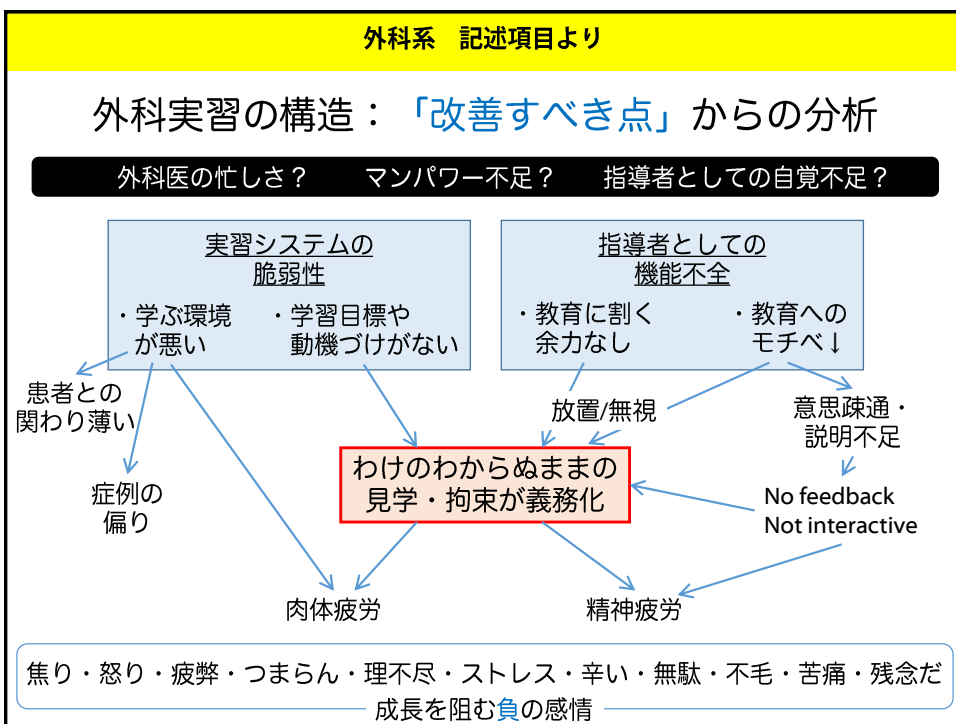
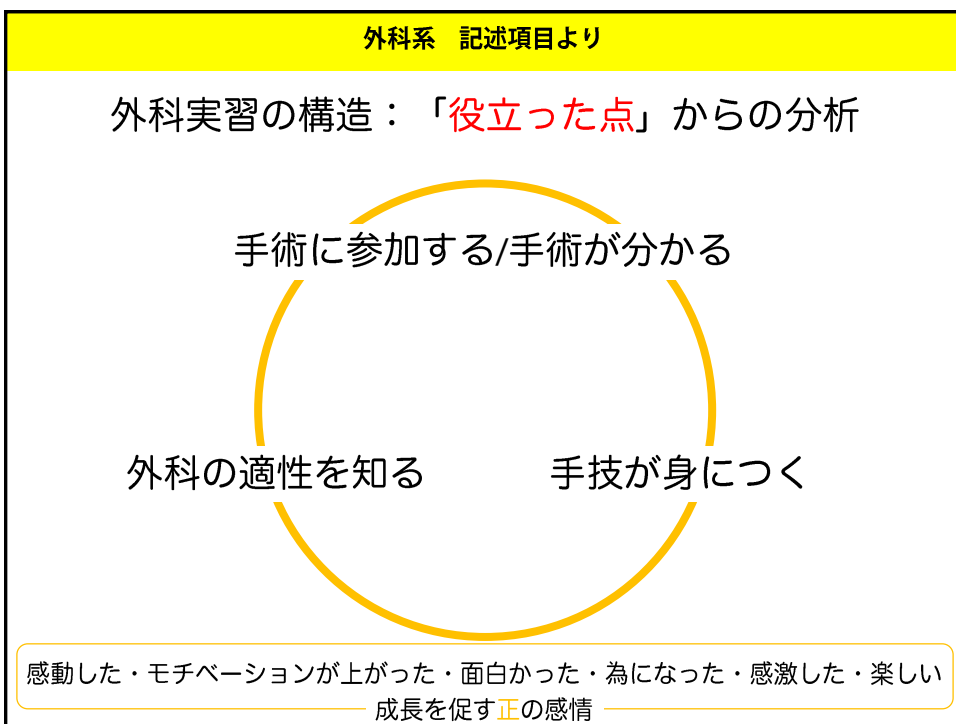
- ・放置
- ・無視
- ・無意味な拘束

19

これまでの部分は、外科も含まれる
全診療科に共通する結果です。

ここからは、外科系115例について
さらに詳細な解析結果をお示しします。

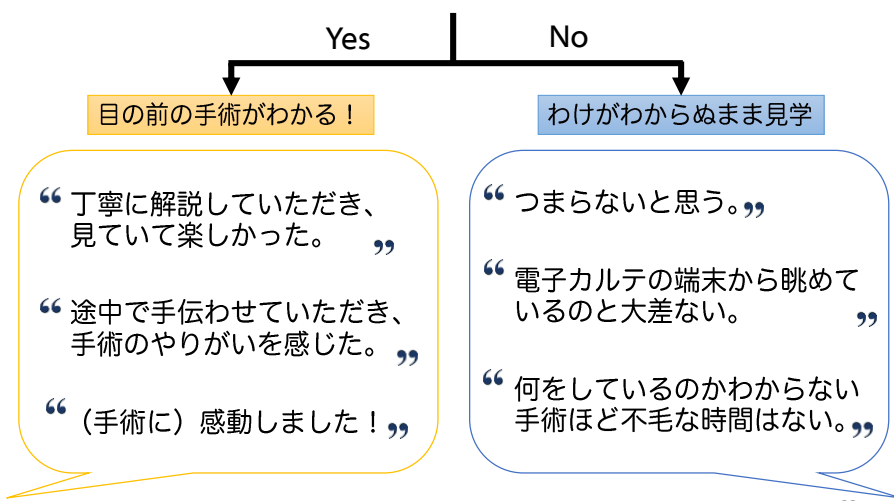




外科系 記述項目より

1. 手術が理解できる

さらには手術を手伝える！



23

外科系 記述項目より

理解できる手術へのヒント？

外科実習で「**やってみたかったこと**」を分析

- “ ・ 術中にもう少し解説していただきたかった
- ・ 術前術後の検査についてもっと勉強したかった
- ・ オペのPlanningに参加したかった ”

24

外科系 記述項目より

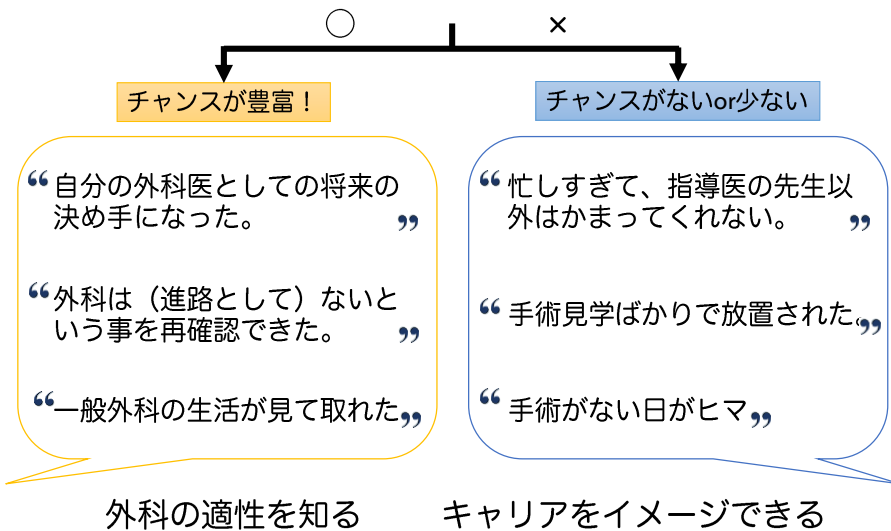
2. 手技をものにできる

- “糸結びの練習がためになった”
- “何回も手術に入り、清潔手洗いに慣れました”
- “縫合を実践できて自信がついた”
- “（これから）ガウンテクニックを迷わずできそう！”
- “腹腔鏡シミュレータが自由に使えて楽しかった”

25

外科系 記述項目より

3. 外科の適性を知ることができる



26

3 トピックス：外科医の先生方へ

1. 手術を理解できる
2. 手技をものにできる
3. 外科の適性を知ることができる

27

日本外科学会
利益相反の開示
筆頭発表者名：伊藤 秀一

演題発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

28